

おばなざわ



令和4年
8月
No.852

目次

- 2 … 尾花沢市長選挙結果報告
- 4 … トピックス / 8 … おばなざわ日記
- 10 … みんなのページ / 12 … お知らせ
- 16 … おばなざわ事典

おばなざわ事典

お 尾花沢まつりばやし

(日本遺産認定、尾花沢市指定無形文化財)

へ伝え残したいふるさと文化へ

篠笛と三味線の美しい音色と太鼓の勇壮なバチさばきで、おばなざわ花笠まつりの「まつり行列」には欠かせない「尾花沢まつりばやし」。京都祇園ばやしの系統を受け継いでいると言われており、長い間口伝により伝承されてきましたが、演奏者の高齢化や若者の出兵などの影響により衰退してしまいました。



▲北村山視聴覚教育センターの動画もご覧ください。

「尾花沢まつりばやし」は3つの曲で構成されています。

<p>すころ (鉦)</p> <p>夕方、最高潮に達した祭りの終了を告げ、帰路に着くときの曲。祭りの終わりを惜しみながらも、アップテンポに太鼓を叩く、勇壮な曲調です。</p>	<p>やえん (野宴)</p> <p>市内を練り歩くときに演奏する曲。3つの楽器の調和が美しく祭りを盛り上げる、尾花沢まつりばやしの中心的な囃子曲です。</p>	<p>おげんけ (幻化)</p> <p>祭りの始まりを告げながら、諏訪神社へ向かうときの曲。三味線の音色が中心となって、ゆったりと響く曲調です。</p>
--	---	---



▲8月27日のまつり行列「囃子屋台」で尾花沢まつりばやしを演奏する様子。

その後、なんとか再興したいと、昭和31年、故菅野蔵さんと鈴木勲さんによって、楽譜作りが始まりました。2人は、かつての演奏者の方々を訪ね、実際に演奏してもらい、菅さんが自分で採譜していた楽譜を基に何度も調整を重ねていきました。さらに「小学生でも演奏できる楽譜」にし、昭和34年の春に完成。「口伝だけでは途絶えてしまう無形文化が、楽譜によって誰もが演奏することができ、未来へと受け継ぐことができるものになりました。その後も「尾花沢まつりばやし保存会」を設立したり、まつりばやし教室を開催したりしながら、この伝統文化が途絶えることのないように伝承活動を行っています。

「尾花沢まつりばやし教室」 ※新型コロナウイルス感染防止対策をとった上で行っています。

太鼓

三味線

篠笛

5月～11月の毎週土曜日には、尾花沢まつりばやし保存会が指導する、まつりばやし教室が行われています。総勢48人で、楽しみながら尾花沢まつりばやしの伝承活動をしています。
※興味のある方は尾花沢地区公民館TEL23-2016までお気軽にお問い合わせください。

▲楽器ごとに分かれて練習。3つの楽器を合わせたときに美しい音色になるよう、「ワンチーム」を合言葉に、心を1つにして取り組んでいます。現在は、8月27日・28日の花笠まつりに向け練習中です！

市の人口と世帯

8月1日 現在	前月比
男 7,201人	(-25)
女 7,395人	(-21)
計 14,596人	(-46)
世帯数 5,283戸	(-10)

先月中の動き (届出件数)

出生 ……	5人
死亡 ……	20人
転入 ……	7人
転出 ……	38人
婚姻 ……	6組

表紙

とき「その瞬間を待つ」

新型コロナの影響で3年ぶりに開催された「丹生川鮎友釣り大会」。20回目となるこの大会に、県内より25人が参加し、釣果を競いました。灼熱の太陽が照りつける中、釣竿を巧みに操り、川の流れに神経を集中させ、鮎がかかるその瞬間をじっと待つ釣り人たち。今年は鮎の数が少ないようで、参加者は皆苦戦していましたが、優勝者は14匹釣り上げて会場を沸かせていました。清らかな丹生川で釣り人が長い竿を垂らす光景は、尾花沢の夏の風物詩にもなっています。
(7月31日 荻袋「丹生川ふれあい広場」付近にて)

再生紙を使用しています。

令和4年7月24日執行 尾花沢市長選挙開票結果

党派名	候補者指名	得票数(票)
無所属	当 結城 ひろし	4,744票
無所属	すがね 光雄	4,740票
	得票数	9,484票

投票総数	9,566票	有効投票	9,484票
無効投票	82票	無効投票率	0.86%

選挙当日の有権者数	投票者数				計	棄権者数	投票率
	当日の投票者数	期日前投票者数	不在者投票者数				
男	6,268	2,933	1,782	33	4,748	0	75.75%
女	6,501	2,689	2,095	34	4,818	0	74.11%
合計	12,769	5,622	3,877	67	9,566	0	74.92%

歴代の市長(敬称略)	任期	市長名
初代～第4代	昭和33年10月4日～昭和49年10月14日	奥山 英悦
第5代	昭和49年10月15日～昭和50年7月15日	田中 宇七
第6代	昭和50年9月7日～昭和53年6月30日	菅原 連蔵
第7～8代	昭和53年8月12日～昭和61年8月11日	星川 保松
第9～11代	昭和61年8月12日～平成10年8月11日	星川 剛
第12～14代	平成10年8月12日～平成22年8月11日	小野 紀男
第15～16代	平成22年8月12日～平成30年8月11日	加藤 國洋
第17代	平成30年8月12日～令和4年8月11日	菅根 光雄
第18代	令和4年8月12日～	結城 裕

第18代、9人目の市長が誕生

令和4年尾花沢市長選挙は、7月17日に告示され、新人の結城裕氏と現職の菅根光雄氏が立候補を届出。7日間の選挙戦を経て、7月24日に市内35カ所の投票所で投票が行われました。サルナートでの即日開票の結果、午後9時35分に結城裕氏の当選が確定。これにより、第18代、歴代9人目となる尾花沢市長が誕生しました。

なお今回の投票では、期日前投票者数が3千877人となり、当日有権者数の約30%を占めました。前回市長選挙での期日前投票者数3千3人と比較して874人増加しており、回を重ねるごとに期日前投票が有権者の皆さんに浸透してきていることがうかがえます。



令和4年 尾花沢市長選挙

新市長は結城裕氏に決まる

結城氏に当選証書付与

任期満了に伴う尾花沢市長選挙の投票が7月24日に行われ、結城裕氏(新町3)が初当選を果たしました。選挙日翌日の7月25日、市役所で当選証書付与式が行われ、市選挙管理委員会の大場委員長から結城氏へ当選証書が付与されました。

菅根市長から結城市長へ

菅根市長の任期満了を控えた8月10日、菅根市長から結城氏へ、市長の事務引継が行われました。そして、8月12日、結城新市長が初登庁。尾花沢の新たな舵取りにあたっていきます。

●結城裕氏プロフィール●

昭和31年10月生まれ、満65歳。尾花沢小学校、尾花沢中学校、楯岡高校、東洋大学法学部(2部)卒業後、昭和52年1月防衛庁に入庁し、平成29年3月に防衛省を退職。その後尾花沢へ帰郷。趣味はスポーツ観戦・読書。現在、妻と長女との3人暮らし。

ごあいさつ

去る7月24日に行われた市長選挙におきまして、市政を担うことになりました。結城裕です。市の長として、尾花沢市の舵取りを市民の皆様から託されたことを嬉しく思うと同時に、あらためて責任の重さを感じている次第です。



私は「市民が主役」をモットーに、市内全域に足を運びました。市民の皆様からは、雪に対する不安や人口減少、空き家など、地域が抱える様々な課題を聴くことができました。市ではこれまで、災害情報をはじめとする市民生活に直結した内容を発信してきましたが、今後さらに市が抱える様々な問題についても積極的に発信し、市民の皆様と情報を共有しながら、課題解決に向けて一緒に考える開かれた行政運営を目指していく考えです。

その一つとして、市民の皆様の声を政策に反映できるように、SNS等の手軽なコミュニケーションツールを活用した意見交換の場を設けてまいります。その上で、安全性や透明性等にも配慮しながら、スピーディーな行政運営に努めてまいります。

私も故郷に戻り、あらためて尾花沢の歴史と文化、自然などの豊富な資源に気付かされました。こうした資源を活かし、皆様とともに知恵を絞りながら、次世代を担う若者たちにとって夢のあるまちづくりを進めてまいりますので、市民の皆様のご指導ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

尾花沢市長 結城 裕



▲徳良湖畔に立つ「高宮常太郎翁之像」

徳良湖築堤を提唱し、尾花沢の稲作・産業発展に尽力した「高宮常太郎」を小学校の郷土学習等で取り上げるため、青少年の健全育成活動等を行うB & G財団の助成事業により「ふるさと偉人マンガ」の制作を行うことになりました。

脚本執筆、作画をするための取材が、7月12日に市内各所で行われました。

トピックス
TOPICS 2

「ふるさと偉人マンガ」制作
あべ美佳さん取材

7月12日、脚本を手掛ける本市出身の脚本家あべ美佳さんと、作画を担当する東北芸術工科大学の学生2人が尾花沢を訪れ、常太郎にゆかりのある方々取材し、徳良湖を視察しました。

尾花沢の豊かな暮らしの礎を築いた先人を知ること、子どもたちがふるさとへの愛着や興味関心を持ち、将来の生き方・生活を考えるきっかけにつながるよう、「高宮常太郎」のマンガを制作することになりました。

今年で101年目を迎える徳良湖は、大正時代、中町で魚屋を営んでいた高宮常太郎が農業用ため池の築堤を提唱したことからは始まり、多くの方の協力を得ながら工事が進められ、大正10年に完成しました。また、常太郎は徳良湖を水源とした水田開発や、尾花沢鉄道などの産業振興にも尽力されています。



▲鈴木正一郎さん(写真右)

▲高宮徹哉さん(写真右)

▲鈴木勲さん(写真右)

▲星川茂平治さん(写真右)

▲徳良湖を視察するあべ美佳さん(写真左)と、芸工大漫画研究会の2人。



▲中島橋の完成を祝って花笠踊りを披露。



▲渡り初めをする地区の皆さん。

吉田清一区長は、中島橋が「単なるロードブリッジのみならず、地域のコミュニケーションブリッジとして、地区民の絆の架け橋となるよう期待したい」と話されました。

トピックス
TOPICS 3

「中島橋」
渡り初め開通式

中島公民館付近を流れる沢の川に架かる「中島橋」は、約80年の年月により老朽化し、平成30年3月に撤去されてきました。延長10mの小さな橋ですが、中島地区の中心部を行き来するのに欠かせない通路であり、また、中島・行沢地区の簡易水道の給水管も通っている重要な橋でもあることから、地区民が早期架け替えを要望していました。これを受けて工事が行われ、無事6月23日に竣工となりました。

7月7日、新しい中島橋の完成を記念し、地区民による手作りの「渡り初め開通式」が行われました。安全祈願の後、花笠踊りが披露され、工事関係者や地区民たちが渡り初めをし、地区内をつなぐ橋の復活を喜びました。



▲ケガ人搬送訓練

▲消火器訓練

▲防災士の講話

トピックス
TOPICS 1

各地区で防災訓練

もし災害が発生したら…自分たちの地域は自分たちで守る！

地区内で災害が発生した際、自分たちがとる行動を確認し、防災意識の向上を図るため、消防と地区民とが一体となった防災訓練が各地区で行われました。

7月3日、尾花沢・宮沢・玉野・常盤地区でそれぞれ自主防災会を中心に訓練を実施。地区民や消防団が参加し、携帯電話からの119番通報を実践したり、消火器・消火栓の使い方、放水、ケガ人の運搬方法などを学んだりしました。

万が一災害が発生した際は、その場にいる一人ひとりが自分の役割を把握して行動し、対応する必要が近所の人たちと話をしながら、とっさに行動に移せるように地域で備えておきましょう。



▲地区民による消火栓の使い方と放水訓練。(宮沢地区・正殿地内)



▲放水塔付消防ポンプ自動車の放水銃を使った、高所放水訓練。(尾花沢地区・荒橋市営住宅敷地内)



▲消防団による火災防ぎょ訓練(玉野地区・下原地内)



▲消防団員による、給水プールを活用した放水訓練。(常盤地区・細野地内)



▲各首長や農協関係者によるテープカット。

糖度12度以上でみずみずしい果肉、シャリッとした食感が自慢の「尾花沢すいか」を全国に届けるため、7月16日に「Aみちのく村山東部すいか選果施設（尾花沢市新町五丁目）」で出発式が行われました。

トピックス TOPICS 7

日本一の夏すいかを全国へ！
「尾花沢すいか」出発式

夏すいか生産量日本一を誇る「尾花沢すいか」の出荷シーズンがいよいよ始まりました。出発式には、尾花沢市長、大石田町長、村山市長のほか、農協関係者など約40人が出席。安全・安心祈願の後、大山功JASすいか生産部会長があいさつし、「4月の霜被害、6月前半の低温と、栽培管理に苦労しましたが、生産者の努力により今日の出発式を迎えることができました。生産者としての誇りを持ち、今シーズン終了まで計画的な出荷ができるようにしたいです」と意気込みを語りました。その後テープカットを行うと、尾花沢すいかの箱をぎっしり詰め込んだ大型トラック2台が、首都圏へ向けて出発しました。

「尾花沢すいか」は、7月中旬から9月上旬まで出荷が続く。ピーク時の7月下旬から8月中旬には、毎日約5万玉のすいかが大型トラック60〜80台で全国各地へと運ばれていきます。



農家の皆さんが大切に育てたすいかを積んで【いざ出発！】



▲こちらのQRコードを読み取ってアクセスできます。

6月22日公示され、7月10日に投開票が行われた「第26回参议院議員通常選挙」の尾花沢市での開票結果をお知らせします。
※詳しい内容については、市公式ホームページ <http://www.city.obanazawa.yamagata.jp/16064.html> をご覧ください。

トピックス TOPICS 8

参议院議員選挙
開票結果

7月10日に執行された参议院議員通常選挙では、市内35の投票所で午前7時から投票が行われました。午後7時に投票所が閉鎖されると、各投票所からサルナートへ投票箱が送致され、午後8時に開票がスタート。即日開票結果が発表されました。※当日有権者数12,949人

山形県選出議員選挙(届出順)	投票率	得票数
・ 舟山 やすえ(国民民主党)	70.58%	1,399票
・ 石川 涉 (日本共産党)		322票
・ 小泉 あきら(NHK党)		199票
・ 大内 りか (自由民主党)		91票
・ 比例代表(届出順)		
・ 幸福実現党		4票
・ 日本維新の会		301票
・ れいわ新選組		1票
・ 公明党		0票
・ ごぼうの党		4票
・ 立憲民主党		8票
・ 国民民主党		3票
・ 参政党		3票
・ 日本第一党		3票
・ 日本共産党		2票
・ 新党くにもり		3票
・ 自由民主党		4票
・ 社会民主党		2票
・ NHK党		0票
・ 維新政党・新風		1票

トピックス TOPICS 4

（株）ヤマザワと「災害時等における救援活動の協力に関する協定」締結



▲「この協定により、尾花沢でさらに地域に根ざしたスーパーマーケットになっていくよう努めたい」とあいさつされた（株）ヤマザワの古山利昭代表取締役社長（写真左側）。

7月5日、（株）ヤマザワと尾花沢市との「災害時等における救援活動の協力に関する協定」の締結式が行われました。

この協定締結により、大規模災害が発生した際、（株）ヤマザワより一時的な避難場所として駐車場やトイレを提供いただくほか、飲料水・食料・生活必需品等の物資提供による救援活動、災害時の情報提供に協力いただくことができるようになります。

市では、関係団体や民間企業等と緊急時の連絡体制強化を図りながら、より安全・安心なまちづくりに努めていきます。

トピックス TOPICS 5

（公財）ヤマザワ教育振興基金より100万円を寄贈



▲「将来を担う若者のために、実のあるものに使ってほしい」とあいさつされた（公財）ヤマザワ教育振興基金の山澤廣代表理事（写真右側）。

（公財）ヤマザワ教育振興基金より、尾花沢の子どものための教育機材等の購入に役立ててほしいと、市に100万円が寄贈されました。

7月5日、市役所で寄贈式が行われ、山澤廣代表理事より五十嵐教育長へ目録が手渡されました。（公財）ヤマザワ教育振興基金は、（株）ヤマザワの地域貢献活動の一環として、教育・スポーツ振興を目的に昭和62年に設立。このたび市内のスーパーマーケットをリニューアルしたことを記念し、寄贈されたとのことです。

市内の子どもたちの教育活動のため、大切に使用させていただきます。

トピックス TOPICS 6

尾花沢ライオンズクラブ 献血功労団体等知事感謝状



▲尾花沢ライオンズクラブの鈴木光子会長（写真右側）と、矢作清次郎幹事（写真左側）。今後も皆さんの生命と健康を守るため、献血へのご協力をお願いします。

尾花沢ライオンズクラブに、献血功労団体として、県知事感謝状が贈られました。

尾花沢ライオンズクラブは献血の趣旨に賛同し、毎年2回、献血車2台での活動を実施しており、長年にわたり献血事業の推進に大きく貢献されてきました。

7月15日、県庁にて贈呈式が行われ、吉村知事より感謝状が贈呈されました。式の後、鈴木光子会長は「この感謝状をいただいたことは、献血にご協力いただいた皆様のおかげです。今後も尾花沢市のために会員一同力を尽くしていきたい」と市民へ感謝の意を話されました。

Diary 尾花沢中・福原中「ワクワクWORK」
7/6 地元の企業って面白いね



有旭屋設備
▲流し台に排水管の取り付け作業を行いました。技術を教わりながら協力し合って排水の配管に挑戦。水漏れすることなく設置できました。



オプテックス工業(株)
▲ボールを落とさないように動きを感じ・制御しながら運ぶロボットなどを見て、最先端の機械設計・製造技術を学びました。



株式会社やぶ本店
▲クリームでケーキの飾り付けにチャレンジ。均一に塗ったり絞ったりするのが難しく、素早くきれいに完成させるプロの技に驚いていました。



株式会社スポーツ
▲お客さんは「道具自体を欲しがっている」のではなく、「その道具を使って問題を解決したがる」というニーズに気を配ることなど、小売りのテクニックを学びました。



株式会社和技術
▲レーザースキャナーや測量機器を実際に使い、建物・道路・橋などの大きな施設を造るための、精密な測量技術を体験しました。



社会福祉法人尾花福祉会
▲人を乗せた車椅子を押して、段差の乗り越えに挑戦。前輪・後輪を上げる際の力の込め方や介助される方への声掛けのポイントを教わりました。

地元企業への理解を深め、関心を高めてもらうことを目的とした職業学習が尾花沢中学校にて行われました。尾花沢中2年生と福原中1年生が、この日参加した6社の企業ブースを回り、プレゼンを聞いたり仕事の一部を体験したりしながら、いろんな仕事があることを知り、やりがいを感じました。

Diary 尾花沢中1年生が地域探訪
7/7 歴史を学んで芭蕉の気持ちで俳句を詠もう



尾花沢中1年生90人が、4班体制で学区内の最上三十三観音札所や芭蕉、清風歴史資料館を巡り、御詠歌や芭蕉の詠んだ俳句などを見ながら歴史と文化を学びました。自分の住む地域で地区民が昔から大切に守り、伝えてきたことを発見した生徒たち。学習後に詠んだ俳句は、芭蕉を超えているかも!?



Diary 地元のヒト・モノ・コトを学ぶ「ジモト大学」開講
7/27 ヨット体験で徳良湖の魅力発見!

高校生対象のジモト大学尾花沢キャンパスが開講され、1回目の講座に新庄の高校生4人が参加しました。徳良湖で活動を行っている三浦好昭さんから徳良湖の魅力について話を聞いた後、ヨットクラブの長谷山会長の指導で実際にヨット操縦を体験。地域の大人と交流しながら尾花沢を知り、楽しみました。

おばなざわ日記 Diary Obanazawa
※撮影のため一時的にマスクを外している写真があります。

Diary 7/1 「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式
地域のチカラで
犯罪・非行のない社会を



▲岸田総理大臣からのメッセージを読み上げ、菅根市長へ手渡す北村山地区保護司会尾花沢分会の佐藤会長(写真左側)。

この運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、安全安心な社会を築くための全国的な取り組みです。保護司会や更生保護女性会等が中心となり、立ち直りの手助けなどに尽力しています。

Diary 福原地区公民館で「スマホセミナー」
7/15 初めてのLINEに
チャレンジ



ソフトバンクの方が講師となり、スマホセミナーを開催。11人の参加者が、地図・カメラ・文字入力等の基本的な使い方を学び、LINEを使って会話したり写真を送り合ったりしてスマホの便利さや楽しさに触れました。



※教室は、新型コロナウイルス感染防止対策をとった上で行っています。

Diary 宮沢地区公民館で「笹巻き&梅シロップ作り」
7/15 郷土の食を伝えたい

市野々在住の菅藤広一さん、信子さんを講師に迎え、笹巻きと梅シロップ作りが行われました。参加者は、自分の家とは異なる作り方や味付けに興味津々。地区民交流の中で受け継がれる地域の食文化を楽しみました。



▲7月22日に開催された「安全安心大会」席上で、尾花沢大石田地区防犯協会連合会より市と町へ4枚ずつ贈呈されました。

Diary 北村山高校生が防犯ステッカー作成
7/22 地域みんなで子ども
を見守りましょう

北村山高校総合文化部の皆さんが、地域の子どもは地域全体で守るとの願いを込め、「子ども見守りパトロール」マグネットステッカーをデザインしました。このステッカーは、市内のバスに貼って活用されています。

載せきれなかった話題は尾花沢市公式ホームページに掲載中。

トップページ → ニュース特急便(※アイコンをクリック) → 最新の記事 → ニュース特急便
URLはhttp://www.city.obanazawa.yamagata.jp

北村山高校生 Presents ★★★★★★
尾花沢を元気にします

きた★スタ!



北村山 STARS
白熱したクラスマッチの様子、今年から始動したA1部・ヨット活動の様子をお届けします!

vol.60



▲今回の編集委員
後列左から：佐々木翔大、田中琉那
前列左から：西尾乃朱、古郡百々花



▲実行委員長・水戸幸翼さんの挨拶



▲グラウンドに全校生徒が集合!

6月17日に夏季クラスマッチが開催されました! 前年度までのクラスマッチは年1回でしたが、今年度は夏と冬の2回実施することになりました。
今回は午前中にサッカーとキックベースを行い、午後から障害物競走とクラス対抗リレーを行いました。
結果は見事3年2組が総合優勝を勝ち取りました!

夏季クラスマッチを行いました!

クラスマッチ終了後、とても楽しかったという声が多く聞かれました。企画・運営を頑張ってくれたクラスマッチ実行委員に感謝します。生徒一人一人の笑顔が輝く素敵な行事になりました!



▲男子年次対抗 サッカー!



▲女の戦い! キックベース!

左記QRコードから北村山高校のInstagramやホームページを見ることができます! → 北村山高校の魅力がたくさん詰まっているので中学生の皆さん、保護者の皆さん、ぜひチェックしてみてください!



Instagram



ホームページ

A1部・ヨット活動始動!

北村山高校では、尾花沢市と協力してA1部とヨットの活動を行っています。A1部ではプログラミング技術の習得を、ヨットの活動では大会出場に向けて練習を頑張っています。



▲1年次生だけで頑張つて操縦しています。

▼楽しくプログラミングを学んでいます。



食育レシピ

～食生活改善推進員さんおすすめレシピ～

第10弾

「食品ロス」削減にも!

【スイカの白い皮の水晶煮】

「食品ロス」は、まだ食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことで、一般家庭から年間約247万トンの食品ロスが発生しています。もったいない上に、地球の温暖化を加速してしまうとして問題になっています。そこで今回は、食品ロス削減レシピをご紹介します。食材は尾花沢が誇るスイカです!! 「真ん中の、んまいとごぼりくって捨ててね!」

◆ 材料2人分 ◆

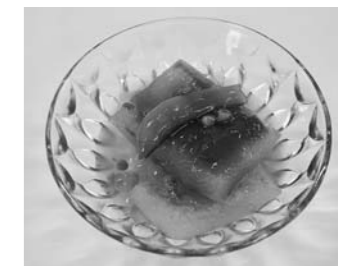
- ・スイカの皮の白い部分…80g ※スイカの皮の緑の硬い部分を削ぎ落とし、白い部分を使います。
- ・スナップエンドウ、ピーマンなど、家にある緑の野菜…適量
- A【ごま油小さじ1、水50ml、めんつゆ(3倍希釈)小さじ2】
- ・片栗粉…小さじ1 ・水…小さじ2

◆ 作り方 ◆

- ①スイカの皮の白い部分を、かぼちゃの煮物のイメージで約3cm×4cmの大きさに切り、熱湯でさっとゆがく。(レンジで加熱してもOK。ラップをして600W約1分) 緑の野菜は食べやすい大きさに切り、ここで一緒にゆでて、別にしておく。
- ②フライパンにスイカの皮の白い部分、Aを入れて弱めの中火で透き通るまで煮あめる。
- ③緑の野菜を加えてさっと煮たら、水溶性片栗粉でとろみをつけて、できあがり。

◆ 一口メモ ◆

他にもスープの具にしたり、細長く切り生のまま塩昆布と和えて「塩昆布漬け」にしたり、さっとゆがいてすりごまと砂糖としょうゆで和えて「ごま和え」にしたりと、アレンジも楽しめます。皆さんもいろいろチャレンジしてみてください!! おいしいものができたら、ぜひ教えてくださいね!



尾花沢市食生活改善推進協議会

首都圏だより

Letter from Metropolitan Area



首都圏尾花沢会会長
もりやま かおる
森山 馨 さん
(宮沢出身)

暑い日が続き、スイカの美味しい季節になりました。首都圏でも「尾花沢すいか」を目にする機会が増え、そのたびにたくさん売れますようにと応援してまいります。私も大好きなスイカをたくさん食べて酷暑を乗り切りたいと思います。話は変わりますが、残念なお知らせがあります。今年も9月の首都圏尾花沢会総会および懇親会を中止にしました。3年連続の中止ですが、会員および来賓の安全を優先しての決断でした。来年こそは多くの方々に出席していただき、盛大に開催したいと考えております。そこでお願いがあります。当会では会員を募集しております。首都圏にお住まいで、お盆をふるさとで過ごされている方、ぜひとも入会をご検討ください。また、この記事をご覧になり、首都圏のご親戚に入会を勧めていただくのも大歓迎です。

【入会等の問合せ】

市役所 総合政策課

☎0237(22)3750(直通)

※総合政策課より首都圏尾花沢会の担当者へ連絡の中継ぎをさせていただきます。





尾花沢市役所 代表 ☎(22)1111

市営住宅入居者募集

- 敷金／入居時家賃の3カ月分
- 申込締切／8月31日(水)
- 入居決定／
優先入居または公開抽選
- 入居時期／10月上旬頃
- ※入居条件がありますのであらかじめご相談の上、お申し込みください。

☎建設課 都市住宅係
☎(22)11114

【入居者募集 住宅一覧】

募集住宅	所在地	戸数	概要	家賃(月額)	駐車場使用料	特記事項	
						・単身入居可(ただし、高齢者・障がい者等)	・一般世帯向
長根下住宅 2号棟 (RC造4階建)	新町	2	昭和55年建築／3・4階 3DK	16,200～ 31,800円	なし		
下新田団地 (RC造4階建)	上町	1	平成13年建築／2階 2LDK エレベーター有	22,600～ 44,500円	月額 2,600円 (屋内)		
福原よつば 住宅 (木造2階建)	荻袋	1	平成21年建築 (戸建)2LDK	22,100～ 43,500円	なし		期限付入居、 小学校6年以下の子がいる 世帯が対象

※家賃は令和4年度のものです。

おもたか奨学生の募集

高校在学中に月額の貸付金を無利子で借りることのできる奨学金です。

- 対象／令和5年4月に高等学校および高等専門学校に進学を希望し、一定の条件を満たす方
- 貸付額／月額1万8千円
- 貸与期間／令和5年4月～高等学校に在籍する期間まで

返済／

10年以内(据置き1年無利子)※ただし、卒業後に本市に居住すること等を条件に、返済を免除する制度もあります。

申込方法／9月30日(金)まで

在学する中学校へ申請。
※詳細は左記までお問い合わせください。

☎教育指導室【内線312】

羽州街道(猿羽根山)てくてくウォーキングツアーを開催します

芭蕉や茂吉、イザベラバードが歩いた羽州街道。歴史を感じながら、一緒にいい汗をかきましょう！

日時／9月9日(金)

午前9時～午前11時30分

■集合場所／福原地区公民館

**コース(約2km)／羽州街道古道
散策→猿羽根山山頂(地藏尊)**

■講師／大類誠氏(文化財専門員)
■対象者／市内在住の方
(先着15人)

持ち物／飲み物、雨具等

■申込方法／8月31日(水)まで左記へお申し込みください。

☎福原ふるさと歴史保存会(福原地区公民館内) ☎(25)2798

令和5年度「つや姫」生産者募集

■対象／次の①～③を含む各種要件を満たす方。詳細は左記へお問い合わせください。

- ①栽培適地内に水田を有する。
 - ②水田経営面積が3ha以上。
 - ③有機または特別栽培をしている。
- ※ただし、水田経営面積3ha未満でも、過去3年の一等米比率が県平均以上であるなどの要件を満たす場合は対象となります。
※生産を希望する面積が、すべて認定されるとは限りません。

申込締切／9月6日(火)

※米の出荷先(JA等)または農林課へお申し込みください。

☎農林課 水田営農対策係【内線147】

JAみちのく村山 尾花沢営農センター ☎(22)2020

令和4年度

「家庭保育応援商品券」を支給します(2歳児未満)

市内に住所を有する2歳未満の乳幼児を家庭で保育している方を応援するため、『商品券』を支給します。商品券を受給するには申請が必要です。

令和4年7月31日現在で対象と思われる世帯には、申請の案内を送付しますのでご確認ください。

なお、4月以降にお子さんが生まれた方や転入された方で、給付対象になるにも関わらず案内が送付されなかった場合は、下記までお問い合わせください。

対象者／

- ①市内に住所を有する2歳未満の乳幼児を家庭で保育している、市内在住の父または母
- ②市内に住所を有する2歳未満の乳幼児と同居している方で、父母に代わりその乳幼児を保育している、市内在住の祖父母等

支給額／

乳幼児1人当たり月額1万円 ※『商品券』での支給になります。
※4～9月分と10～3月分に分けて年2回、10月と翌年4月に支給します。

支給制限／

以下の場合、支給対象になりません。

- ①乳幼児が保育所等に入所しているとき
- ②支給対象者が生活保護を受けているとき
- ③父母の居住理由が里帰り出産など一時的なとき
- ④乳幼児が2歳になったとき
- ⑤住所や居住要件に該当しなくなったとき

※月の途中で支給制限に該当した場合は、前月分までが支給対象です。

※出生および転入により支給対象者に該当した場合は、次月分からの支給になります。

■申請期間／8月16日(火)～3月15日(水)

※4～9月分の商品券を10月の受給で希望される方は、9月15日(木)まで申請してください。
☎福祉課 子育て支援係【内線178】

**原の内A遺跡第4次調査
作業員募集**

鶴子のほ場整備地内で行う発掘調査の、作業員を募集します。
■場所／鶴子地区(ほ場整備地)

水道メーター検針員募集

市内に在住し、70歳以下の健康で働く意欲のある方を募集します。
■検針期間／毎月15日から約10日

日時／9月2日(金)

午後1時30分

■場所／悠美館 ハイビジョンホール

☎(公財)山形県埋蔵文化財センター
☎023(62)5301

放射性物質測定結果

上水道

6月7日に上水道の水源等から水道水を採水し検査を行った結果、放射性セシウムは検出されませんでした。

☎尾花沢市大石田町環境衛生事業組合 上下水道課 水道施設係

☎(23)2161【内線10・11】

簡易水道

6月28日に簡易水道の水道水を採水し検査を行った結果、放射性セシウムは検出されませんでした。

☎環境エネルギー課 簡易水道係
☎(22)1112

秋季市民一斉クリーン作戦

豊かな自然を守るため、秋季の「市民一斉クリーン作戦」を実施します。
新型コロナウイルス感染症予防対策(マスク着用、距離を保つ等)を行い、けがに注意して作業してください。皆様のご協力をお願いします。

1. 日 時 **9月4日(日) 午前6時～午前7時**
2. 集合場所・清掃場所 区長・衛生組合長の指示に従ってください。
3. 作業内容 道路沿線・公園などの清掃やゴミ拾い、ゴミの分別

※集められたゴミは尾花沢市建設業協会のご協力により翌日収集されます。

【注意事項】

- ◎ゴミは次の5種類に分別し、ゴミ袋に入れてください。
 - ①燃やせるゴミ
 - ②燃やせないゴミ(ビニール、処理不適物)
 - ③カン類
 - ④ビン類
 - ⑤ペットボトル
- ◎土砂(側溝の泥を含む)や草木、家庭ゴミは出せません。



▲春のクリーン作戦では、皆様のご協力により大量の不法投棄物が回収されました。

廃タイヤ・廃バッテリーを回収します

1. 日 時 **9月4日(日) 午前7時～午前8時**
2. 回収場所 市役所西側駐車場(旧保健センター付近)
3. 回収手数料 (1本、1個あたり)



品名		手数料	
廃タイヤ	普通車・軽自動車・バイク	ホイール無し	200円
		ホイール付き	300円
	RV車	ホイール無し	500円
		ホイール付き	700円
	一輪車	100円	
廃バッテリー		0円	

※大型自動車、トラクターなどのタイヤは回収しません。

※処分料の一部を「尾花沢市衛生組合連合会」より助成しています。

☎ 環境エネルギー課 ☎ 22-1111 【内線 261・262】

漏水調査・止水栓オフセットにご協力ください

漏水の早期発見のため、調査員が対象世帯の敷地内の水道メーター等を調査します。また、緊急時に漏水等が発生した場合の止水作業を実施する止水栓の位置調査(オフセット・測量)も同時に行います。お宅を訪問された際は、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、調査員が物品の販売・修理等を行うことは一切ありません。

調査地区 / 上町4地区の一部

調査時期 / 8月下旬～11月上旬

調査業者名 / フジ地中情報(株)東北支店

☎ 022(208)7743

☎ 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合 上下水道課

☎ (23)2161

救急車の要請のしかた

尾花沢市消防本部では、119番通報を受信した際、次の①～⑦の内容を問いかけます。いざという時に落ち着いて救急車を要請出来るよう、聞かれる内容を把握しておきましょう。

※症状に応じて聞かれる内容が変

わる場合があります。

- ① 救急車が向かう住所・場所
 - ② 何歳の誰が、どのような症状か
 - ③ 意識・呼吸はあるか
 - ④ 現在治療している病気・過去に大きな病気をしたことがあるか
 - ⑤ かかりつけの病院はあるか
 - ⑥ 新型コロナウイルス関連の質問(ワクチンの接種歴、県外への往来歴、家族や親族に感染者がいないかなど)
 - ⑦ 通報者のお名前と電話番号
- 必要項目を聞き取ります。
- 目の前に具合の悪そうな人がいると慌ててしまふと思いますが、通信指令員が順番に質問しますので、ご安心ください。
- 出勤場所を間違えず、到着後すぐに適切な処置をするために重要な情報ですので、ご協力をお願いします。
- ☎ 尾花沢市消防本部 救急係
- ☎ (22)1131



北村山視聴覚教育センター

【土曜日の一般公開日】

開館日 / 8月20日、8月27日、9月3日、9月10日、9月24日

※9月17日はイベント準備のため一般公開なし。

【朗読プラネタリウム】

期日 / 9月19日(月・祝)

※事前の申込みが必要です。

【時間】

- ① 午後2時～午後2時40分
- ② 午後2時55分～午後3時35分
- ③ 午後3時50分～午後4時30分

内容 / プラネタリウムの美しい星空の下、伊藤永夏さん(フリーアナウンサー)の朗読による星にまつわるお話をお楽しみください。

【入場料】 / 無料

申込 / 左記QRコードまたは申込用電話からお申込みください。

※8月19日(金)予約受付開始。

申込用電話 ☎ (55)0695

(平日午前8時30分～午後5時15分)

☎ 北村山視聴覚教育センター

☎ (55)4211

<https://www.kavec.ed.jp/>



預けて安心！あなたの遺言(自筆証書遺言書保管制度)

あなたの書いた遺言書を法務局で大切に保管します。法務局に預けておくと、遺言書の紛失や亡失、相続人による隠匿や改ざんなどの恐れもなくなります。

また、相続が開始したとき、遺言書が保管されていることを法務局からお知らせすることもでき、家庭裁判所の検認手続も不要となるので、相続手続をスムーズに進められます。

※手続は完全予約制です。詳しくは左記にお問い合わせ、またはホームページにてご確認ください。

※遺言書の内容に関する相談は受けできません。

☎ 山形地方法務局

☎ 023(25)1321

<https://houmukyoku.moj.go.jp/yamagata/>

